



なほ

市民の友

第686号 毎月1回発行
2008年(平成20年)

3月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 (株)近代美術

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2008(平成20)年1月末現在	
総人口	316,680 (2,128)
男	152,807 (1,138)
女	163,873 (990)
世帯数	131,424 (1,296)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	93,975
真和志	104,739
首 里	58,163
小 禄	57,675



環境のために県内で初導入

ディーゼルハイブリッド車を導入

市では、環境保全と地球環境保護対策の一環として、地球温暖化の原因となる二酸化炭素や窒素酸化物・黒煙などの排出を抑える、環境に配慮したディーゼルハイブリッドのごみ収集車1台と資源ごみ収集車1台を導入しました。

ディーゼルハイブリッドとは、主にトラックなどで使われるディーゼルエンジンと電気モーターを組み合わせた駆動方式のことです。

このシステムは、アイドリングストップ機能が付いており、発進する時には電気モーターのみを使い、また、加速する時にはエンジンを電気モーターがアシストしディーゼル燃料の消費を抑えるもので、発進、停止を繰り返すごみ収集車への採用は、環境面と経済面からも非常に効果的と考えられています。

実際に、今回導入された車両はこれまでのごみ収集車に比べて、窒素酸化物41%・黒煙は85%以上削減し、さらに二酸化炭素の排出量を17%削減、燃費は20%向上します。

1月30日に行われた出発式で市長は、「ハイブリッド車の導入により、市内の環境保全と地球温暖化防止の対策が一歩前進するものと期待しています」とあいさつしました。ディーゼルハイブリッドのごみ収集車の導入は、県内で初めてとなりますが、市では、今後も低公害で、地球温暖化の防止に役立つ同ごみ収集車の導入を予定しています。

主な紙面

資源化物の無断持ち去り行為は禁止です
子育てって楽しい！
子育てパパを応援します
市長の施政方針(要旨)
情報PACK

6 4 3 2
7 5

協働のまちづくり つむぎ 那覇を紡ぐ

33



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。

去る2月1日(金)、若狭公民館で、コミュニティシネマ上映会を実施しました。
「コミュニティシネマ」とは、地域における豊かな上映環境を創造し、地域に根ざした上映活動を行うというものです。

今回の取り組みは、若狭公民館の青年講座・交流事業において、参加者の「映画は人々に、夢や希望、喜び、感動を与えてくれる。そしてその感動は、人と人の心をつなげる。企業などの協働で、地域で映画を上映することによって、地域コミュニティの発展につながるのではないかな。その上で、公民館で映画上映できたら面白い」という意見を受け、地域団体などにより実行委員会を結成し、実行委員会主催で映画上映会を検討していたところ、桜坂劇場から協力の申し出があり実現したものです。

映画を通して 地域をつなぐ

上映終了後は、「とても良かったです。次はいつ上映するの?」「足が悪くて遠くまで行けないから嬉しいなあ。久しぶりでとても楽しかった」と、満足げな表情で感想を話している地域の方々の姿を見ることが出来ました。

法令遵守や利益貢献だけでなく、市民社会、地域社会の一員としての企業、その企業のCSR(企業の社会的責任)が話題になる中で、専門的知識と技術を活かし地域活動に貢献したいという民間企業と、地域づくりの拠点としての公民館では、地域社会を担う主体的な市民と、今後も地域に根ざした活動とともに、このような協働事業に積極的に取り組んでいきたいと考えています。



公民館という施設利用についてのワークショップの様子(若狭公民館 青年講座)